

YOUNG BLOOD

安全・絆・躍進

JR連合 青年・女性委員会 議長 大戸 浩之

国土交通省鉄道局 勉強会出席

～ 政策課題実現の重要性を再認識 ～

勉強会に参加

2014年4月21日（月）、国土交通省鉄道局との勉強会が開催され、鉄道局から各政策立案担当者、JR連合から執行部及び各単組政策担当が出席しました。青年・女性委員会からは、代表して大戸議長が参画し、青年・女性委員会の立場から発言を行い、鉄道行政施策への反映を強く求めました。

青年・女性委員会からの発言

「国鉄時代から引き継いだ資産がいまだ現役の場合も多々あり、各種部品のやり繰りに各社苦勞していることから、鉄道局が中心となって各社の資材調達を一本化できるような仕組み作りをお願いしたい」との発言に対し、鉄道局側からは「メンテナンスは非常に重要だと認識している。各社間での連携・意見交換はやっているが地域の運輸局単位でより深い意見交換ができるよう検討していきたい」との回答を受けました。この他にも、各社の労使関係だけでは解決できない自然災害への対応などの防災対策の強化、鉄道インフラ基盤の強化、JR三島会社及び貨物会社の経営安定、整備新幹線の取り扱い、鉄道特性を活用した利便性向上施策の展開など、多くの課題について意見が出されました。あらためてJRという会社は行政の力に影響されるところが多く、政策課題解決に向けた取り組みがいかに重要であるかを再認識しました。

“次代”を見据えて

少子高齢化や人口減少など、鉄道産業を取り巻く環境は厳しい将来が予想されます。これからの時代を担う私たちの世代がしっかりと鉄道の未来を考え、問題意識を持ち議論することが大切であるといえます。非常に短い時間ではありましたが貴重な経験になりました。

